

令和 6 年度第 2 回放送番組審議会

■開催日時

令和 7 年 1 月 16 日（木）14:00～16:00

■開催場所

WEB 会議

■出席委員（6 名）

放送番組審議委員会会長 景山 陽一
放送番組審議委員 服部 洋之
加藤 光平
栗原 エミル
伊藤 かすみ
時田 修
(順不同・敬称略)

■事務局出席者

代表取締役社長 末廣 健二
取締役兼コーポレート本部長 佐々木 祐人
テクニカルクリエイト本部長 安保 達成
テクニカルクリエイト本部マネージャー 斉藤 洋樹
TEAM CNA CREATION チームリーダー 尾形 祐三
TEAM CNA CREATION サブリーダー 矢口 正平
コーポレート本部サブマネージャー 佐藤 義夫

■議事

- ・事務局からの報告事項
- ・自主放送番組についてのご意見

■視聴課題番組

番組名
① アンケート調査バラエティ「あきた×ゆりほん TV」 #1「おすすめのラーメン屋さん」
② 男鹿グルメ旅～なまはげの里で男鹿を味わう～

■放送番組審議委員会からのご意見

【①アンケート調査バラエティ「あきた×ゆりほん TV」#1「おすすめのラーメン屋さん」】

- ・CNA と、CNA が指定管理するゆりほんテレビとのコラボ番組らしく、どちらもリポーターが秋田市と由利本荘市の出身者のペアとなっていてよかった。
- ・地域情報に詳しい出演者（和丸氏、大杉氏）双方とも、語彙が豊富で話すことに長けていることが地域の情報の信憑性を高めていた。
- ・バラエティとはいえ、番組で「アンケート調査」を標ぼうしお店をランキングする以上は、サンプルはもっと集めるべきだったのではないかな。
- ・視聴者として知りたいところは 1 位、2 位、3 位がどれくらいの得票だったのかとを感じる。よってより慎重さ、丁寧さにフォーカスし信頼度を高めることが必要ではないかな。
- ・なぜ秋田市のほうでは 1 位ではなく 2 位のラーメン店を取り上げたか、視聴者へ意図を伝えるべきと感じた。
- ・お題について、「ラーメン」「そば」「定食」といった単純なジャンルで区切るよりも、「市外から来た人を連れて行きたい○○」や「自分へのご褒美で行きたい○○」、「手土産でもっていききたい○○」など、捻りや絞りを持たせるとより興味をそそられ、他のバラエティ番組と差別化も図れるのではないかなと感じた。

【②男鹿グルメ旅～なまはげの里で男鹿を味わう～】

- ・30 分にぎゅっと、男鹿の「うまい」が詰まった番組だと感じた。
- ・特に初めて見る人は男鹿に行ってみたい！と思わせる演出だったと思う。
- ・グルメ番組らしく、どの店でも作るところをしっかりと丁寧に、アングルも良くきれいに撮影していてよかった。
- ・入道崎の空撮がとても美しく撮影されていたと感じた。
- ・男鹿市観光 PR イベントに合わせた映像番組制作ということで、エモーショナルな撮影と、都市部・インバウンド向けのテロップワークが感じられコンセプトに合致していた。
- ・一方で、東京観光＋インバウンド観光誘致を目的としているならば、選定したお店の数々が庶民派でありミスマッチとなっているのではないかな。
- ・音声に関しては声質からか音圧が少ないと感じた。
- ・可能であれば編集ソフトで音圧を上げる、イコライジングするなどして反響を減らすと良い。そうすると BGM に負けないナレーションになり、必然的に現場音や音楽を立たせられる。